

北海道公立大学法人札幌医科大学次期理事長予定者の決定について

北海道公立大学法人札幌医科大学理事長選考会議 議長 鈴木 一博

北海道公立大学法人札幌医科大学理事長選考会議（以下、「理事長選考会議」という）は北海道公立大学法人札幌医科大学理事長の選考等に関する規程（以下「理事長の選考等に関する規程」という。）に基づき理事長候補者の選考を行った結果、下記のとおり次期理事長予定者を決定した。

記

1 理事長予定者

- (1) 氏名：山下 敏彦（やました としひこ）
- (2) 現職：本学理事長

2 次期理事長の任期

令和8年4月1日～令和10年3月31日

3 選考のスケジュール

- (1) 令和7年7月10日 理事長選考会議が定める選考基準の決定、選考日程の決定
- (2) 令和7年7月28日 理事長候補者推薦期間公示（期間：令和7年8月12日～8月25日）
- (3) 令和7年10月1日 理事長候補者による所信表明
- (4) 令和7年10月2日 投票による意向聴取（不在者投票）
- (5) 令和7年10月7日 投票による意向聴取（本投票）
- (6) 令和7年10月7日 理事長選考会議による理事長予定者決定

4 意向聴取の結果

- (1) 意向聴取対象者総数 417名
- (2) 投票総数 309票（投票成立要件：意向聴取対象者総数の2／3である278票）
※有効投票総数：308票、無効投票総数：1票
- (3) 有効投票総数の内訳 可とするもの：267票、否とするもの：35票、白票：6票

5 選考の経緯

理事長選考会議においては、理事長の選考等に関する規程第3条に基づき「理事長に求められる資質・能力」を定め、履歴書及び業績調査、所信表明、意向聴取を実施し、理事長候補者の選考を行った。

山下候補は、令和4年から本学理事長兼学長として、本学の研究活動の醸成や社会実装の推進、入試制度改革及び特定機能病院に求められる高度な機能水準の確保に積極的に取り組んできたほか、新たに「Vision for the Next Decade」を策定し、本学の目指すべき姿を明確に示すなどリーダーシップを発揮して大学及び病院の運営に貢献してきた実績を評価。

また、法人運営に関しても、今後、効果的な収支改善対策を講じるなど、法人経営の健全化に向けた積極的な取り組みが期待できる。

理事長選考会議は、こうした業績等に加え、教職員から多数の支持を得た意向聴取の結果も参考として、山下敏彦候補が本法人の理事長として適任であるとの結論に至り、次期理事長予定者として決定した。

6 その他

- (1) 理事長の任命は法人の申出に基づき、北海道知事が行う。
- (2) 理事長は本学の学長となる。